



第2回目
覚法寺納骨堂
改築工事情報



季刊

覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園 1-25
電話 (096)383-4874
FAX (096)383-3050
kakuhojiji@eagle.ocn.ne.jp
http://www.facebook.com/kakuhoji
お問い合わせ
参拝部:電話(075)371-5181
覚法寺:電話(096)383-4874



©2010 熊本県くまモン
熊本県 SDGs 登録事業者

前回の季刊誌では、解体の状況をお知らせいたしました。昨年いっぱい解体が終了し、更地の状態になりました。年が明けましていよいよ建物の建築に取り掛かり、進捗状況をお知らせします。

建築物の基礎となる基礎配筋の設置 ↓ 基礎コンクリート打設 ↓ 土間配筋設置 ↓ 土間コンクリート打設と進みました。その後、一階部分の骨組みが完了し、二階へと建設が進んでいくとこ

ろです。

一度建設工事が始まりますと、日に日に建設現場の光景が変わってまいります。最終的には、5階建てエレベーター付きの新納骨堂が完成する予定です。お年寄りの方などなたでも参拜できますように、エレベーターの設置、バリアフリー化で持続可能な納骨堂を目標として計画を進めさせていただきます。

一部写真提供:竹内工務店

元日から大変な災害が起こりました。熊本地震を上回るマグニチュード7.6を記録した能登半島地震が日本中を震撼させました(熊本地震は最大マグニチュード7.3)。そして大変なのは真冬の極寒の北陸地方であったことです。これは熊本地震の春と違い、非常に厳しい状況にありました。▼こういう事態が起こった時、熊本地震を経験したことのある熊本県民は、自分たちの経験上の情報を交えた支援ができる状況にありました。支援の優先順位として、まず1番にお金(支援金)、少し状況が把握されて2番目に物(必要な物資の支援)、そして3番目に人(ボランティア活動支援)と言われています。3月になり現場では、ようやくボランティア活動の受け入れ態勢も整いつつあり、本願寺でもボランティア活動の募集が動き出しました。▼覚法寺では、ひと月遅れとなりましたが、2月に「ダーナ基金」より支援金を募金することができました。これも普段から多くの方々より募金していただいたお陰であります。▼災害はいつ発生するかわかりません。普段からのご協力が何よりの助けとなります。

住職雑記

御正忌報恩講
ご門主様法話(一部抜粋)

本山の御正忌報恩講が1月9日から16日まで御影堂で営まれました。15日には、午後2時からの速夜法要(大速夜)に続いて、ご門主様のご親教(法話)を述べられました。

報恩講は全国から親鸞聖人をお慕いする皆さまがご参拝くださり、そのご遺徳を偲びつつ、ご一緒におつとめをし、お念仏もうさせていただく尊いご縁であります。このご縁にあたり、親鸞聖人が私たちにお伝えくださった浄土真宗のみ教えをあらためて味わわせていただきます。

昨年は、3月より5月までの5期30日間にわたり、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要をおつとめいたしました。本年は、親鸞聖人がその主著である『顕浄土真実教行証文類(教行信証)』に浄土真宗のみ教えを体系的に著されて800年という年にあたります。

このことは、親鸞聖人が説かれた浄土真宗のみ教えが、800年という長きにわたり、絶える



ことなく、人々のよりどころとして今日まで受け継がれてきたことを意味します。そして、それは日本だけでなく世界各地へと伝わっています。このように浄土真宗のみ教えは、時代や場所を問わない、普遍性を持った教えであるということが出来ます。親鸞聖人が明らかにしてくださった阿彌陀さまのおはたらきは、私たち個人の願望をかなえるというものではありません。煩惱を抱え、この世界の縁起や諸行無常といった、ありのままの真実を受け入れることができない私たちを、お浄土というおさとの世界へと導き、真実に目覚めさせようと絶えずはたらくてくださっています。阿彌陀さまのおはたらきを聞かせていただくとき、私たちは人間の思慮分別を超えた真実のありようを知らされるとともに、そのしんじつに背く煩惱を抱え、迷いの世界を出ることのできない私の姿に気づかされます。そして、そのような私を見放すことなく、摂め取って必ず救うという阿彌陀さまのお慈悲の心、そのおはたらきに全てをお任せするのが、浄土真宗の信心です。さらには、阿彌陀さまに慈しまれていると同時に、悲しまれていることを信知するならば、自らの煩惱性・罪悪性を深く悲し



1階お内仏では、夕方4時に子どもたちがお勤めをしてくれます。

み、慚愧して、それを厭離しようとするのが当然であり、決して自らの煩惱的欲求に無批判に従うということではありません。それは、これまで自己の執われに無自覚であった者が、執われに縛られている自己であると知らされ、執われを離れようと意識させられ、その意識が毎日の生活に影響を与えるということです。

ダーナ基金だより

日頃よりダーナ基金へご協力ありがとうございます。2月7日の「ダーナの日」に一年間の集計をいたしました。ダーナ募金額は143,768円集まりました。

今回は能登半島地震関連として、本願寺たすけあい募金「能登半島地震災害義援金」へ5万円、能登半島地震支援「生活用品セツト提供活動プロジェクト」へ3万円、輪島塗本舗「輪島塗義援金」へ2万円、合計10万円をダーナ募金より寄付致しました。また、本願寺「子どもたちの笑顔のために募金」へ全額の14,968円を寄付致しました。

今後ともあなたのささやかなお気持ちをどうぞお届けください。

お寺の2階本堂入り口に「ダーナ募金」「子どもたちの笑顔のために募金」それぞれの募金箱を設置しております。

(はちすの会ダーナ基金係より)

熊本仏教壮年会

2月3日(土)、熊本教区会館において、第一ブロック研修大会がありました。八代市の大松龍昭先生(大法寺住職)のご法話がありました。

仏教が説く三宝(仏法僧)にある僧とはサンガという。それは仏と法を抛り所として生きる人々のことである。それが「善き仲間」であり、仏教壮年会でいう「朋友」のことである。それが「宝」と言われている意味を、よくよく汲み取るべきである。会員ではなく「朋友」であるという自覚と喜び。そここそ仏教壮年会の魅力は表れてくるのではなからうか。というお話がありました。お互いを宝と思える人々の集まりに、是非ご参加ください。



覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより



私達の主な活動

・・・(冬より春へ)・・・

新年を迎えてすぐ、震度7を観測した「令和6年能登半島地震」では甚大な被害が発生しました。改めて自然災害の恐ろしさを痛感した次第です。覚法寺では、2月にダーナ基金より支援金を募金することができました。心より感謝申し上げます。



○新年会(1月5日)

今年初めて、皆さんと共に本堂にてお勤めをしました。その後、日本料理「はらぐち」にて新年会を行いました。



○如月忌法要(2月7日)

九条武子様(1887年～1928年)のご命日法要をお勤めし、講話の録画を鑑賞しました。



○ダーナの日

毎年2月の例会を『ダーナの日』と定めております。皆様からご支援いただいた募金を、今回は「能登半島地震災害義援金」「生活用品セット提供活動プロジェクト」「輪島塗義援金」へ、寄付致しました。



○お磨き(3月16日)

お彼岸前ですので、『仏具のお磨き』を行い、仏具も心もピカピカになりました。

○春のお彼岸(3月19日～20日)

「一座法要」「春季彼岸会」「永代経法要」が本堂にて勤修されました。

【ご講師】廣福寺 宇治 和貴 師

※納骨堂建て替え工事につき、お斎は中止となりましたが、お土産に粗飯を準備させていただきました。



覚法寺本堂改築に於けるご懇志進納について

このたびの覚法寺本堂改築に於いて、ご懇志進納のご依頼を二月にさせて頂きました。そこで、ご進納の進捗状況をご報告いたします。

令和六年二月二十九日現在
三十四名様 計 2,112万円

懇ろなるお志を賜り、誠にありがとうございます。次号より、ご進納いただいた方の名前を掲載いたします。(匿名希望者は掲載致しません)
音光寺

新納骨堂申込み状況

標準型	517基	299基申込み	残 218基
小型	195基	131基申込み	残 64基
大型	30基	10基申込み	残 20基

おかげさまで、総数742基のうち440基の申し込みがあり、残り302基となりました。数的にはまだ大丈夫ですが、標準型は1階がほとんどなくなり、小型は上部を希望される方が多いようです。

もし新納骨堂をお考えの方は、早めにご相談ください。

新納骨堂は9月に完成予定で今年中には納骨ができるようになる予定です。

2023年

朝のお参りベスト10

- 1 粟津美代子さん (365)
- 2 有田 勇さん (125)
- 3 川本 信隆さん (100)
- 4 入江 緑さん (83)
- 5 酒井ノブ子さん (19)
- 6 大塚 さん (17)
- 7 森川 さん (12)
- 7 城島 さん (12)
- 7 船岡 要介さん (12)
- 10 原田 昭義さん (11)

一〇〇日参りをしてみませんか?

2023年は3名の方が一〇〇日以上のお参りでした。一つ大きな目標を立てて、朝からお参りください。

四月からの朝のお勤め(晨朝)の時間が六時半になりました。

一緒にひなさまを飾りました。



松下愛奈さん(左)
木下しおりさん(右)

この春、マリスタ高校を卒業した石本敏大君は、小学2年生の時から覚法寺の子ども会に参加してくれていました。中学生になってからも、お手伝いをしてくれていました。卒業式後、2ヶ月程お寺の寺務を手伝ってくれました。立派な職員として、一人前以上の仕事ぶりでした。4月から東京の大学に進学することになっています。健康に気をつけて、頑張ってください。今後の活躍を期待しています。



寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の令掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720

趣味の写真集や自分史を
作ってみませんか?
1冊よりお作り致します。



PRINTING©

株式会社 太陽社

企画印刷 一般印刷物 カラーコピー データ入力
〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18
TEL 096-366-1251
FAX 096-364-7672



http://www.taiyo-sha.net